

都電荒川線沿線と日暮里・舎人ライナー沿線(尾久・日暮里)観光スポット

- ① 都電荒川線荒川車庫 (西尾久8-33)
- ② 荒川遊園煉瓦塀 (西尾久6-20・21・34付近)
- ③ あらかわ遊園 (西尾久6-35-11)
- ④ 水上バス発着場とグロッケン(鉄琴) (西尾久6-35)
- ⑤ 延命子育地蔵尊 (西尾久6-32)



① 都電荒川線荒川車庫 (西尾久8-33)

三ノ輪橋～早稲田間を運行する「都電荒川線」は、8900形の新型車両をはじめ5種類が運行し、都電おもいで広場には、旧型車両2両が展示されています。また、6月10日の「路面電車の日」や10月1日の「荒川線の日」を記念したイベントが開催されます。

② 荒川遊園煉瓦塀 (西尾久6-20・21・34付近)

明治初期、この地域では煉瓦に適した土が取れ、船運等交通の便が良いため、煉瓦工場が建ち並びました。その後、大正11年(1922)、跡地に荒川遊園を開園し、煉瓦工場にあった煉瓦を使い、遊園を囲む塀を造ったとされています。

③ あらかわ遊園 (西尾久6-35-11)

日本で一番古いコースターがある都内で唯一の区立遊園地です。その他「どうぶつ広場」などもあり、幅広い層の方々が楽しめます。入園料：大人200円・小学生100円(平日は無料※春・夏・冬休み期間を除く)。開園時間：9～17時。休園日：毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日) [問合せ：03-3893-6003]

④ 水上バス発着場とグロッケン(鉄琴) (西尾久6-35)

隅田川のほとり、「東京水辺ライン」の発着場「荒川遊園」(土・日・祝日の特定日運行)の近くの欄干には、グロッケン(鉄琴)が設置されています。左から鍵盤を叩いていくと、「春のうららの隅田川」の歌詞で有名な滝廉太郎作曲の「花」を奏することができます。

⑤ 延命子育地蔵尊 (西尾久6-32)

寛文9年(1669)・宝永2年(1705)銘の日待供養塔2基を始め、寛永20年(1643)銘の地蔵菩薩や庚申塔など、江戸時代に建てられた石造物があります。延命・子育てにご利益があり、毎月2日・12日・22日の「2の日」には縁日があり、毎年7月12日には祭りを行っています。

⑥ 寶蔵院 (西尾久3-16-19)

本尊は虚空蔵菩薩で、近世の山水画、阿彌陀三尊種子板碑などがあり、元禄4年(1691)の願文が納められている木造不動明王が祀られています。徳川将軍の馬をつないだと伝えられる「駒つなぎのイチョウ」があります。

● 伝統工芸職人

荒川区の無形文化財(工芸技術)保持者として指定・登録を受けている職人及び伝統工芸技術を受け継ぐ職人

- 1 象牙挽物・細工 梶田 秀雄(梶田製作所)
- 2 ペーパー細工 森田 孝雄(森田商店)
- 3 表具(屏風) 田尻 和久(田尻表具店)
- 4 更紗染 眞田 定男・貴司(更紗)
- 5 桐たんす 町田 金三郎(町田桐たんす製作所)
- 6 三味線 加藤 金治(第三三味線かつお)
- 7 金箔押 竹澤 光雄(竹澤金箔押所)
- 8 糸目友禅 井出 英世
- 9 漆塗 角 光男(角漆工)
- 10 印章小箱 堀田 義久(堀田印章ケース工芸)
- 11 唐木細工 吉田 吉勝(吉田製作所)
- 12 彫金 田村 尚子(尚彫)
- 13 木版画彫 関岡 裕介(関岡木版画工房)
- 14 木版画彫 川崎 秀勝(関岡木版画工房)
- 15 花かご 武岡 章(竹芸堂 翠屋)
- 16 鏡金 松本 隆一(青竹(荒川)鏡金所)

[問合せ] 荒川ふるさと文化館 03-3807-9234

● 荒川マイスター

永く同一の職業に従事して、高い技術と卓越した技能を習得し、荒川区から表彰を受けた職人

- 1 自転車製造 松田 志行(駒マツダ自転車工場)
- 2 畳工 木村 宣明(橋本畳店)
- 3 手描友禅 高木 尚美
- 4 切削工具研磨 市村 公(南丸一研磨工業所)
- 5 管楽器組立 横山 結紀雄(フオ楽器製作所)
- 6 木工塗装工 中村 雅一(南研工業所)
- 7 和紙技術士 中村 さた子(中村和紙教室)
- 8 刃物製作 清水 孝隆(正太郎刃物製作所)
- 9 金加工工業 岩淵 誠
- 10 調理師(日本料理人) 若井 和実(ホテルラングウッド)
- 11 理容師 土肥 賢(理容サリソ)
- 12 かばん・袋物製造工 賀島 修(賀島加工所)
- 13 洋服裁縫 角田 次郎(テーラーカド)
- 14 貴金属加工(宝飾師) 木村 勇(木村商事)

[問合せ] 経営支援課 03-3802-3111 内線459

● 荒川のおすすめ品の店

「荒川のおすすめ品・区民が選んだおみやげ編Part1」の店

- 1 植田製菓工場 元祖 植田のあんこ玉
- 2 名月製菓 熟成ケーキ
- 3 都電の街ビール・吟醸酒 川の守のチキチキ都電エッセンス
- 4 寺島酒造 チーズケーキ
- 5 洋菓子セキヤ 羽二重団子
- 6 羽二重団子 羽二重団子
- 7 ミート&デリカ きたじま もんじゃ焼き餅
- 8 江戸うさぎ 和菓子せきね
- 9 和菓子せきね 木村 勇(木村商事)
- 10 美幸あられ あられ

⑦ 地蔵寺 (西尾久3-10-6)

本尊の地蔵菩薩は、聖徳太子作と伝えられ、子育て地蔵尊として信仰されています。宝暦元年(1751)に開かれた地蔵堂に始まり、同9年(1760)に地蔵寺と称しました。八角堂内には千体地蔵尊をはじめ、阿彌陀三尊来迎図を刻んだ夜念仏供養板碑があります。

⑧ 大林院 (西尾久3-9-5)

八幡神社別当の願勝寺が、明治8年(1875)に曹洞宗の尼僧寺大林院を建立しました。正和5年(1316)銘の阿彌陀三尊の板碑のほか庚申塔、石仏などが残っています。毎年5月1日には大般若転読会が行われています。

● モノづくり見学・体験スポット

モノづくりの現場見学や体験ができる作業所

- 1 自転車製造 駒マツダ自転車工場
- 2 ペーパー細工 森田商店
- 3 三味線 第三三味線かつお
- 4 自転車用ベル製造 橋本製ベル製作所
- 5 ドールハウス小物製作 三三工房
- 6 彫金 尚呼
- 7 貴金属製品 井島貴金属精錬クレイ・イジマ
- 8 陶磁器製造 美火土陶院
- 9 竹芸 翠屋
- 10 トルコランプ ZAKUROさんぽ家
- 11 服飾系専門学校 専門学校東京二ツファッションアカデミー
- 12 美術工芸講座 御堀川鏡金所

*見学・体験には予約が必要です。 [問合せ] 観光振興課 03-3802-3111 内線461

日暮里・舎人ライナー

日暮里駅(荒川区)～見沼代親水公園駅(足立区)の9.7km(13駅)を約20分で結ぶ日暮里・舎人ライナーは、高架専用軌道を振動タイヤで走行する新交通システムで騒音や振動が少ない乗り物です。

⑨ 八幡神社 (西尾久3-7-3)

創建は鎌倉時代末期の正和元年(1312)に尾久が鎌倉の鶴岡八幡宮の領地となった頃と考えられ、神社に残る棟札からは、至徳2年(1385)には社殿が再建されたことが確認できます。尾久地区の鎮守であり、農工商の神様として親しまれています。

⑩ 清光寺 (東尾久3-2-4)

浄土宗二葉山尾久院清光寺。もとは上野不忍池付近にあったものが寛永寺の造営で、この地に移転しました。境内には永和元年(1375)庚申塔を始めとする板碑や庚申塔があります。また、二葉地蔵、二羽稲荷、二葉閻魔なども所蔵しています。

● 凡例

- ① 主要観光スポット
- ② 観光案内板
- ③ 史跡説明板
- ④ 商店街
- ⑤ 都営バス(バス停)
- ⑥ 都営バス(バス停)
- ⑦ 公園
- ⑧ 児童遊園
- ⑨ 遊び場・広場
- ⑩ 信号・交差点
- ⑪ 花見スポット
- ⑫ 花見スポット
- ⑬ 花見スポット
- ⑭ 花見スポット
- ⑮ 花見スポット
- ⑯ 花見スポット
- ⑰ 花見スポット
- ⑱ 花見スポット
- ⑲ 花見スポット
- ⑳ 花見スポット

⑪ 八幡堀プロムナード (西尾久2-23ほか)

昭和63年(1988)頃、区立尾久宮前小学校の授業で、八幡神社を中心に音無川から農業用水を引いていたことを示す地図を見た児童たちは、今は流れていない何本もの川の存在を知り、お年寄りたちから昔の様子を聞き、この取り組みを次代に伝えるため、この路ができました。

⑫ 華蔵院 (東尾久8-46-2)

中世に造られた板碑2基を所蔵し、境内には多数の石塔が残されています。当院は江戸時代末期より上尾久村の教育の場であり、弘化2年(1845)に寺子屋江川堂が開かれ、明治11年(1878)には区立尾久小学校の前身の私立田辺小学校が設立されました。

⑬ 富士見坂 (西日暮里3-7付近)

都心にいくつもある富士見坂のうち、平成25年頃まで地上から富士山が見える坂でした。「関東の富士見100景」にも選ばれました。

⑭ 西日暮里公園 (西日暮里3-5-5)

豊かな緑に包まれて街の喧騒も忘れるほど静かな公園です。江戸時代には青雲寺境内、近代には旧加賀藩前田家の墓場でした。この辺りの地は眺めが良いことから、江戸時代から人々の憩いの場として親しまれています。

⑮ 八幡堀プロムナード (西尾久2-23ほか)

昭和63年(1988)頃、区立尾久宮前小学校の授業で、八幡神社を中心に音無川から農業用水を引いていたことを示す地図を見た児童たちは、今は流れていない何本もの川の存在を知り、お年寄りたちから昔の様子を聞き、この取り組みを次代に伝えるため、この路ができました。

⑯ 八幡堀プロムナード (西尾久2-23ほか)

昭和63年(1988)頃、区立尾久宮前小学校の授業で、八幡神社を中心に音無川から農業用水を引いていたことを示す地図を見た児童たちは、今は流れていない何本もの川の存在を知り、お年寄りたちから昔の様子を聞き、この取り組みを次代に伝えるため、この路ができました。

⑰ 太田道灌像「回天一枝」 (西日暮里2-19)

「山吹の里」の故事にちなんで鷹狩姿をした室町時代の武将太田道灌の銅像です。日暮里には道灌の岩があったとされる道灌山など、ゆかりの史跡・伝承があります。本行寺の道灌丘碑、青雲寺の日暮里舟繋松の碑(かつて西日暮里公園の位置にあった)は区の文化財となっています。

⑱ 日暮里織維街 (東日暮里3-6丁目付近)

両側約1kmにわたって、生地織物の店が立ち並び、生地織物に関するもの何でも揃います。日暮里織維街の名を全国にアピールするため、デザインコンテストとファッションショーが開催されています。

⑲ 日暮里織維街 (東日暮里3-6丁目付近)

両側約1kmにわたって、生地織物の店が立ち並び、生地織物に関するもの何でも揃います。日暮里織維街の名を全国にアピールするため、デザインコンテストとファッションショーが開催されています。

⑳ 杉野中尉殉難の碑 (東尾久5-6)

大正6年(1917)、陸軍工兵杉野義中尉が陸軍野飛行隊で下志津から所沢へ帰航中、突風により尾久村の水田に墜落し、航空界初期の犠牲者となりました。この悲しい犠牲を忘れないよう追悼の意を込めて、石碑などが建てられました。

㉑ 日暮里織維街 (東日暮里3-6丁目付近)

両側約1kmにわたって、生地織物の店が立ち並び、生地織物に関するもの何でも揃います。日暮里織維街の名を全国にアピールするため、デザインコンテストとファッションショーが開催されています。

㉒ 日暮里織維街 (東日暮里3-6丁目付近)

両側約1kmにわたって、生地織物の店が立ち並び、生地織物に関するもの何でも揃います。日暮里織維街の名を全国にアピールするため、デザインコンテストとファッションショーが開催されています。

㉓ 日暮里織維街 (東日暮里3-6丁目付近)

両側約1kmにわたって、生地織物の店が立ち並び、生地織物に関するもの何でも揃います。日暮里織維街の名を全国にアピールするため、デザインコンテストとファッションショーが開催されています。

1 : 6,200

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)29都基交審第84号